

九州大学エネルギー研究教育機構(社会デザイン部門)の
コーディネーター(教授)の公募について

九州大学エネルギー研究教育機構は、平成28年10月1日にエネルギーに関する多様な理工学および社会科学の統合・融合によって、グローバルに深刻化するエネルギー・環境・経済の複合問題の解決と持続発展可能な社会の実現を目指す全学的組織として設置されました。

この度、後任補充のため下記のとおり本機構のコーディネーター(教授)を国際公募します。

なお、本機構の詳細については、ホームページ<https://q-pit.kyushu-u.ac.jp/>を参照ください。

記

1. 募集人員:教授 1名(任期なし)

2. 所 属:エネルギー研究教育機構

3. 職 務(※) :

(1) 本機構におけるコーディネーターの一人として社会デザイン部門に所属し、主に学外のステークホルダーとの協働による研究成果の社会実装や社会的課題の解決に資する活動を担当するとともに、教育推進部門^{3)②}、研究推進部門^{3)③}、未来デザイン部門^{3)④}のコーディネーター等と協力して、クラスター¹⁾やモジュール²⁾を跨ぐ学際的研究・教育、および産学官連携の企画・調整や支援を行います。

(2) 社会デザイン部門における下記ミッション推進のためのコーディネート業務を行います。

- ・脱炭素社会のグランドデザインの提示
- ・エネルギー研究成果の実用化
- ・エネルギー研究に関する企業や自治体からの要望・相談対応
- ・エネルギーに関する共同研究および受託研究の推進、インキュベーションの支援 など

(3) その他の大学運営業務

※変更の範囲: 本学が指定する業務

4. 専門分野:エネルギー・環境分野全般

5. 応募条件: 次の各号の条件をいずれも満たす者

- (1) 博士あるいは Ph.D. の学位を有する者、またはそれと同等以上の能力を有すると認められる者
- (2) エネルギー分野全体を俯瞰することができる知見・経験を有する者
- (3) エネルギー分野における研究で、国際的な業績を有する者
- (4) エネルギー研究教育成果の社会実装や社会的課題の解決に取り組んだ実績を有するか、あるいはこれらのことに強い関心と意欲を有する。
- (5) 競争的資金(科研費、受託研究等)、企業との共同研究費等の外部資金の獲得実績を有する。
- (6) 企業・自治体・研究機関・国際機関・政府等との連携に意欲を有する。

(7) 日本語による申請書などの文書作成やコミュニケーションが可能であること

6. 求める人材像

- (1) コーディネーターとして、文理に亘るエネルギー分野の研究・社会実装の推進役を果たせる者
- (2) 材料デバイスから、システム、社会までの幅広い分野間の橋渡し役を果たせる者
- (3) 本機構のミッションを理解し、その組織運営に貢献できるマネジメント能力を有する者
- (4) 本学のダイバーシティ推進に寄与できる者

7. 着任日: 令和 8 年 5 月 1 日以降できるだけ早い時期

8. 職業安定法に基づく明示事項

- (1) 雇用期間: 期間の定めなし
- (2) 試用期間: 試用期間あり (3 か月) ただし、国、地方自治体又はこれに準ずる関係機関の職員から引き続き本学の職員となった者については、この期間を短縮し、又は設けないことがあります。(本学就業通則第 6 条第 1 項)
- (3) 就業場所: 九州大学伊都キャンパス(福岡県福岡市西区元岡 744)
※変更の範囲: 本学が指定する場所
- (4) 就業時間、休憩時間、時間外労働: 採用者の同意に基づき専門業務型裁量労働制が適用され、7 時間 45 分働いたものとみなされます。1 日の勤務時間が 6 時間を超える場合は 45 分以上、7 時間 45 分を超える場合は 1 時間以上の休憩時間を勤務時間の途中に置くものとします。休日出勤が生じる場合があります。
- (5) 休日: 原則、土・日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)
- (6) 賃金: 年俸制(令和 2 年 4 月 1 日導入の年俸制)が適用されます。なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します。
- (7) 加入保険: 雇用保険、労災保険、文部科学省共済組合(健康保険、厚生年金)に加入
- (8) 募集者の氏名又は名称: 九州大学エネルギー研究教育機構
- (9) 受動喫煙防止措置の状況: 敷地内全面禁煙

9. 提出書類(提出書類は電子媒体で提出ください。)

- (1) 本学所定の履歴書(写真貼付)
- (2) 研究業績書: (a) 原著論文、(b) 総説・解説、(c) 著書、(d) 国際会議プロシーディング、(e) 招待・依頼講演、(f) その他の業績に分類し、それぞれ新しいものから順に並べてください。なお、(a) 原著論文、(b) 総説・解説および(c) 著書については、応募者が筆頭著者あるいは責任著者である論文、国際共著論文および産学共著論文が含まれる場合は、それぞれを記別できるように三種類の印(例えば○、●および◎)を付けてください。
- (3) 教育、組織運営等に関する業績書: (a) 大学における講義・演習等の教育実績、(b) 組織運営に関する業務実績、(c) アウトリーチ活動実績、(d) 国内・国際連携活動実績、(e) 国際機関における活動実績、(f) その他の実績に分類し、それぞれ新しいものから順に並べてください(A4 判用紙 2 ページ以内。2,000 字程度)。
- (4) 研究業績のうち、主要なものを最大 5 件選定し、それらを A4 判用紙 1 ページ以内(1 件当たり

200 字程度)で列記するとともに、それぞれのエビデンスとなる資料(論文別刷等、各 1 部)を添付ください。

- (5) 応募の動機と本機構における部門のコーディネーション業務に関する抱負(A4 判用紙 2 ページ以内。2,000 字程度)。特に、社会デザイン部門におけるコーディネーション業務に関する抱負を重点的に記載ください。
- (6) これまでの研究教育活動の概要(A4 判用紙 2 ページ以内。2,000 字程度。必要に応じて図表等を挿入して構いません。)
- (7) 外部資金獲得実績(科学研究費、共同研究、受託研究、その他に分類し、代表・分担の別を明記ください。ただし、過去 5 年以内のものに限ります。)
- (8) 応募者について問い合わせのできる 2 名の氏名と連絡先(氏名、所属、職、メールアドレス、電話番号を記述したもの)

10. 応募期限:令和 7 年 12 月 1 日(月)17 時(必着)

11. 選考方法:一次選考(書類審査)および二次選考(面接審査)を実施

※面接の際の旅費等は自己負担とします。

※面接は原則として対面で行いますが、オンライン面接にも対応します。

12. 書類提出先:

提出先: iq-somu@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学 I²CNER・Q-PIT 共通事務支援室 総務・人事グループ

※メールの件名に「教員(社会デザイン部門コーディネーター)の応募」と記載ください。

※提出書類は PDF ファイルにて作成し、添付してください。(1)～(8)の提出書類は、それぞれ一つのファイルとし、ファイル名に 1～8 の番号を記載ください。

※ファイルサイズの合計が 5MB を超える場合は、事前にメールにてお知らせください。提出用の URL をお送りします。

※応募を受け付けた場合、必ずメールにて返信を行います。提出後、3 営業日以内に返信が無い場合は、お問い合わせください。

13. 問合せ先

九州大学 I²CNER・Q-PIT 共通事務支援室 総務・人事グループ 斧 美沙妃

TEL: 092-802-6081

E-mail: iq-somu@jimu.kyushu-u.ac.jp

14. その他:

・九州大学では、男女共同参画社会基本法(平成 11 年法律第 78 号)の精神に則り、教員選考を行います。

九州大学男女共同参画推進室の詳細はこちら <http://danjyo.kyushu-u.ac.jp/>

・九州大学では、「障害者基本法(昭和 45 年法律第 84 号)」、「障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和 35 年法律第 123 号)」および「障害を理由とする差別の解消の促進に関する法律

（平成 25 年法律第 65 号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。

- 九州大学では、平成 29 年 7 月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- 過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を履歴書等に必ず記入願います。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。
- 提出書類は選考以外の目的には使用しません。

(用語説明)

1) クラスター

本機構に「エネルギー材料デバイス」、「エネルギーシステム」および「エネルギー社会」の三つのクラスターを設置。本学におけるエネルギー分野あるいは関連分野の研究を実施している教員は、いずれかのクラスターに参画し、本機構が目的とする分野横断的な先端研究を推進できる。

2) モジュール

クラスターに参画する研究者が、本機構が目的とする分野横断的な先端研究と併せて提案する研究組織(ただし、提案が承認された場合に限る。)

3) 各部門の役割

① 社会デザイン部門

- ・脱炭素社会のグランドデザインの提示および関連業務
- ・エネルギー研究成果の実用化および関連業務
- ・エネルギー研究に関する企業や自治体からの要望・相談対応および関連業務
- ・エネルギーに関する共同研究および受託研究の推進、インキュベーションの支援
- ・その他エネルギーに係る社会的課題の解決への取組および関連業務

② 教育推進部門

- ・分野横断的な人材育成を行うためのエネルギー教育プログラムの開発、運営および関連業務
- ・エネルギー関連科目の調査、分析および関連業務
- ・エネルギーに関連する学府・専攻の博士課程学生の奨学支援および関連業務
- ・その他エネルギー教育に関連する業務

③ 研究推進部門

- ・分野横断的な先端エネルギー研究の推進および関連業務
- ・本機構のエネルギー研究におけるゲートウェイ機能の構築および関連業務
- ・学際的エネルギー研究グループの創設および関連業務
- ・エネルギー研究成果の外部発信および関連業務
- ・その他エネルギー研究に関連する業務

④ 未来デザイン部門

- ・脱炭素社会に向けた連続的なイノベーション創出のためのプラットフォームの構築
- ・脱炭素未来革新技術の調査・予測
- ・炭素未来革新技術の評価・解析による有望技術の抽出
- ・未来社会ニーズも考慮した未来エネルギーデザイン など